

# YOSAN

広報よさの

No.83



●今月の表紙

岩滝保育所もちつき（12月7日撮影）

●主な記事

02 新春町長インタビュー・議長あいさつ

18 与謝野町子ども発表会

2013

1

新春巻頭特集

◎特集 新春町長インタビュー

2期目の締めくくり

今年のまちづくりを町長が語る。



太田町長にとって2期目の締めくくりとなる今年。今までの与謝野町流のまちづくりの歩みを振り返りつつ、今年のまちづくりを語ってもらいました。

「明けましておめでとございませう。まずは昨年を振り返って、2012年はどのような年だったでしょうか。」

「明けましておめでとございませう。昨年はうれしいニュースが数多く聞かれ、まちが盛り上がった1年でした。まず、思い出されるのは木崎良子さんのロンドンオリンピック出場です。8月5日のレース当日には多くの人が声援を送り、まちをあげて応援し、まちが1つになった瞬間を体感しました。そして、11月には与謝野町としては初めての名誉町民として木崎さんを表彰させていただきました。」

「また、同じ8月5日に開催された京都府消防操法大会では与謝野町消防団が見事優勝し、続いて出場した10月の全国大会でも見事な操法を披露してくれました。」

「与謝野町の皆さんが大舞台で活躍するその姿は私たちに勇気と感動を与えてくれました。」

「町政全般においてはどうか。町政においても大きな出来事が数多くありました。11月には、総合計画審議会から、まちの政策の指針となる「与謝野町総合計画」後期基本計画について、住民の皆さんの参画による手づくりの計画案を策定していただき、その答申をいただきました。また、1月に設置した「庁舎統合検討委員会」からも、1年近くにわたり熱心な議論を重ねられ、その答申をいただきました。さらに、11月に「行政改革推進委員会」を立ち上げ、第2次行政改革大綱の策定を諮問しました。」

「そのほかにも、4月には府内初となる「中小企業振興基本条例」が施行されるなど、住民参画による取り組みが実を結び、「自助」「共助」「商助」「公助」を互いに実践する「与謝野町流のまちづくり」を進めてきたこのまちが、新たな一歩を踏み出した年だったように感じます。」

「今年が町長にとって任期2期目の最終年にあたります。当初に掲げられたまちづくりの5つのテーマ「安心・安全快適な住みよいまち」「地域とコミュニティを育むまち」「教育・子育て支援と福祉のまち」「産業振興と起業を応援するまち」「無駄のない行財政運営のまち」に沿って、2期目のまちづくりの歩みを振り返りながら、今年の計画」後期基本計画について、住民の皆さんの参画による手づくりの計画案を策定していただき、その答申をいただきました。また、1月に設置した「庁舎統合検討委員会」からも、1年近くにわたり熱心な議論を重ねられ、その答申をいただきました。さらに、11月に「行政改革推進委員会」を立ち上げ、第2次行政改革大綱の策定を諮問しました。」

上/野田川わーくばるで開催された「木崎良子選手応援観戦イベント」。パブリックビューイングに多くの人が集まり、大きな声援を送りました  
下/まちづくりの指針となる「総合計画」後期基本計画(案)が答申されました



① 安心・安全快適な住みよいまち

取り組みについて語っていただきたく思います。  
「まず、1つ目のテーマ「安心・安全快適な住みよいまち」についてお聞かせください。」

「おとし3月11日の東日本大震災では過去に例を見ない甚大な被害が発生し、今なお被災地では懸命に復興が進められています。」  
「この大震災は、津波や原子力災害など新たな要素も含めて、防災について改めて考え直す機会となりました。現在、新たな視点に立ってまちの防災計画の見直しを進めています。」

② 地域とコミュニティを育むまち

「次に「地域とコミュニティを育むまち」については、「自治区活動の推進」を取り組みたい重点課題とされていましたが、このテーマについてはいかがでしょうか。」

「自治区活動を推進するため、地域コミュニティの拠点である」

「また、快適なくらしに深くかわる課題のひとつに、ごみ処理の問題があります。現在、与謝野町は宮津市の処理施設にごみ処理を委託していますが、その施設の使用期限を延長して使っている状態です。そのため、宮津市・伊根町・与謝野町で「宮津与謝野広域ごみ処理施設推進協議会」を昨年1月に設置し、1市2町で広域ごみ処理施設の早期建設へ向けて具体的な協議を進めており、その中で課題解決に道筋をつけたいと考えています。」

③ 教育・子育て支援と福祉のまち

「次に「教育・子育て支援と福祉のまち」についてお聞きします。」

「昨年町政懇談会は、6月から7月にかけて、「すこやか子育てミーティング」と題して、テーマを子育てや教育などに絞り、例年と異なる形式で開催されました。住民の皆さんの意見を聞き、どのように感じられましたか。」



子育て世代の皆さんの意見を聞く貴重な機会となった「すこやか子育てミーティング」

「「すこやか子育てミーティング」は、今までなかなか実現できなかった子育て世代の皆さんの意見を直接お聞きするよい機会となり、子どもたちのアレルギーへの対策など時代とともに変化する課題を再認識できました。皆さんから多くの貴重なご意見をいただきましたが、特に関心が高く感じられたのは、保育所・幼稚園のあり方について、と加悦中学校改革策についてでした。」



上/元気いっぱい遊ぶ園児たち。安心して子育てできるまちへ向けて取り組みます  
下/おとし6月に開所した小規模多機能型福祉施設「みんなのうちは後野」。こうした地域密着型の福祉施設の整備を進めてきました



### ミーティングで感じた 関心の高さ

保育所・幼稚園については、具体的な要望からそのあり方まで、さまざまな意見をいただきました。少子化が進み、保育所・幼稚園、小学校の適正規模・適正配置の必要な時期が近づいていますが、その中でも保育所と幼稚園のあり方について、まず第一に取り組みたいと考えています。そのために、より安心して子育てができるよう、さまざまなサービスを選択できるこのまち独自の環境整備を目指し、まち全体で、皆さんとともに具体的に話し合う年に行いたいと考えています。

そして、加悦中学校の改築に関しては、昨年8月に発覚した不祥事の影響で、当初の計画から遅れてしまい、住民の皆さんには大変ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありません。

ンボジウムも開催しました。また、このまちでは条例施行以前からも、「住宅新築改修等助成制度」を設け、循環型経済の構築を目指してきました。これによって平成21年から23年度までに、およそ2億6000万円の補助金交付額に対して補助対象工事費は39億円以上と、およそ15倍の経済効果が得られるなど、成果をあげてきました。今後はこの条例に沿って、皆さんとともに、さらなる具体的な施策を進めていきたいと思えます。

また、リフレエリアの再計画も進め、地元住民の皆さんや指定管理者の法人との協働によって、おとし10月に「リフレかやの里」をリニューアルオープンすることができました。昨年にはハープ園・地元農産物直売所もオープンし、多くの方に来場していただくなど、好評を博しており、うれしく思っています。

また、ちりめん街道については、商工会、観光協会、地元住民、関係団体の皆さんによ



昨年6月、リフレかやの里で開催されたハーブガーデンオープン式典でメッセージ入りのエコ風船を飛ばす子どもたち。昨年、リフレかやの里には地元農産物直売所「森の直売所」もオープンしています

に申し訳なく思っております。子どもたちが笑顔で安心して学べる環境づくりを第一に考え、改築への取り組みを早急に進めますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 福祉分野での取り組み に見る「商助」

「教育・子育て分野での取り組みについてお答えいただきました。続いて福祉分野についてはいかがでしょうか。」

このまちでは、「安心DOK ODEMOPラン」に基づいて独自の地域密着型の福祉施設の整備を進めてきました。これによって、高齢者や障害のある方がそれまでの生活を維持しながら、地域で福祉サービスを受けることができるまちになってきました。

また、取り組みたい重点課題の1つに特別養護老人ホームの建設を挙げていましたが、今年3月には共生型の総合福祉施設「やすらの里」がオープン予定です。この施設は4つの法人によって複数のサービスを1つの施設のなかで提供する全国的にも先進的な取り組みです。特別養護老人ホームをはじめ、訪問

る「ちりめん街道活性化調査・研究委員会」から、「ちりめん街道活性化行動プログラム」の提言をいただいています。財政的な制約もありますが、今後具体的な取り組みとして、できることから「ちりめん街道活性化委員会」や地元の皆さんと協働して進めていきたいと考えています。

### 庁舎統合検討委員会の 設置と答申、 そして今後について

「中小企業振興基本条例の施行とやらんで昨年の大きな町政ニュースとして、「庁舎統合検討委員会」の設置、そして委員会からの答申がありました。今後についてお聞かせください。」

庁舎統合については、おとし5月の住民説明会に始まり、庁舎統合にテーマを絞って開催した町政懇談会とおとし、多くの皆さんからのご意見をいただきました。そして、さらに議論を深めてもらうため、総合計画に掲げる施策方針に基づき、昨年1月に、庁舎統合検討委員会を設置しました。その中で住民を代表する委員の皆さんに、9回にわたる会議で、さまざま

看護ステーション、障害者福祉施設、在宅高齢者福祉施設などが運営され、府の支援も得るなかで実現することができました。地域の皆さんがより便利に安心してサービスを受けられるようになるものと期待しています。これらの福祉のまちづくりは住民の皆さんとの協働で行う「共助」だけでなく、町内の法人とも協働する「商助」という形での1つの成果と言えるのではないのでしょうか。

### 4 産業振興と 起業を 応援するまち

「このまち独自のまちづくりの形である「商助」、その福祉分



中小企業振興基本条例記念シンポジウムでは熱心に意見が交わされ、参加者は真剣に耳を傾けていました

な角度からの幅広い意見交換を経て、昨年11月に答申をいただきました。

庁舎統合については、おとしの町政懇談会に、過去最多、1253人もの方が参加し、大変多くの皆さんに議論していただきました。まちの将来について考え、意見交換するという形で、多くの方がまちづくりに参画する、非常に有意義な機会となったと考えています。

今後は答申内容を尊重し、慎重に対応していくことになりませんが、答申の中で、早急に取り組むべき課題として挙げられた、野田川庁舎本館の閉鎖と、それにもなう課や職員の再配置など、機構改革に着手し、具体的な検討を今年から始めたいと考えています。

### 5 無駄のない 行政運営のまち

「まずは、野田川庁舎本館の早期閉鎖へ向け、機構改革に取り組ん

野での取り組みを紹介していただきました。

関連して次のテーマ「産業振興と起業を応援するまち」についてお伺いします。まず、思い出されるのは「中小企業振興基本条例」の施行ではないでしょうか。

「産業振興会議」では、府内初の中小企業振興基本条例の制定を最優先課題として、おとし5月から熱心な議論を重ね、昨年1月に条例案を答申していただき、3月議会での成立、4月からの施行を実現することができました。

この条例は、住民、事業者、経済団体等および町が中小企業振興について共通認識を持ち、その果たすべき役割を明らかにしながら協働して、「まちぐるみ」で循環型経済の構築を図ることを基本理念とした条例です。この条例は、その内容だけでなく、住民の皆さんとの協働で検討され実現したという点や、取り組みの推進母体が産業振興会議であるという点でも画期的なものとなっております。また、昨年7月には、条例の周知と内容の理解を深め、その理念に基づくまちづくりを進めるため、シ

でいくということでした。機構改革は、5つのテーマの1つ「無駄のない行政運営のまち」の実現に向けても深くかかる課題だと思いますが、このテーマについてはいかがでしょうか。

行政改革については、平成19年に住民の皆さんで構成する行政改革推進委員会が策定した、「第1次行政改革大綱」に沿って進めてきました。その中でコストの削減など財政面を中心に改革を進め、平成20年度から23年度までの4年間で、14億8400万円の支出を削減することができました。

そして、昨年11月には「第2次行政改革大綱」の策定を諮問し、新たなメンバーで行政改革推進委員会がスタートしました。第2次行政改革大綱で



右/昨年11月にスタートした「行政改革推進委員会」。第2次行政改革大綱の策定に向け、活発な議論が交わされます  
左/おとし11月に福岡県苅田町で開催された「全国女性町長サミット」。このサミットでは男女共同参画からの防災計画の見直しなどを盛り込んだサミットアピールをまとめ、全国に発信しました



### 議会議長新年あいさつ

## 皆さんに信頼される議会を目指して



与謝野町議会議長  
赤松 孝一

皆様明けまして、おめでとございます。  
大江山連峰麓の里山地域の加悦のまち、野田川流域の盆地に広がる野田川のまち、阿蘇海周辺に民家の密集する岩滝のまち。3つのまちが合併してから、今春で丸7年を迎えます。  
合併以来、まちの一体化がまず優先課題として、CATVをはじめとする通信網の整備事業を推進してまいりました。  
社協、商工会、体協等の主要団体も一本化され、外見的には町内の一体化が醸成されたと映っています。  
しかし、今回町内11カ所にて、

皆様明けまして、おめでとございます。  
大江山連峰麓の里山地域の加悦のまち、野田川流域の盆地に広がる野田川のまち、阿蘇海周辺に民家の密集する岩滝のまち。3つのまちが合併してから、今春で丸7年を迎えます。  
合併以来、まちの一体化がまず優先課題として、CATVをはじめとする通信網の整備事業を推進してまいりました。  
社協、商工会、体協等の主要団体も一本化され、外見的には町内の一体化が醸成されたと映っています。  
しかし、今回町内11カ所にて、

は、財政面だけでなく、機構改革を含めた行政サービス全体のあり方を検討していただき、今後、皆さんに満足してもらえ行政サービスの提供を目指して改革を進めたいと考えています。  
また、今後の財政見直しについてですが、平成28年度から合併市町村として有利な算定で交付を受けていた普通交付税が、5年間で段階的に削減され、その差額は年間約12億円になると見込まれます。  
このような状況に対応し、持続可能な財政運営を行うためにも、早い段階から財政のスリム化を行うことが必要となりますが、住民の皆さんにご理解・ご協力いただきながら、これまで紹介してきたような協働のまちづくりを推進することが大切だと考えています。

園・小学校の適正規模・適正配置、ごみの広域処理、加悦中学校の改築など重要課題は山積していますが、総合計画審議会や庁舎統合検討委員会からの答申など、昨年は、今後の与謝野町のまちづくりについて、一定の方向性を見出すことができ、新たな一歩を踏み出すことができたと1年だったと思います。  
今年、総合計画後期基本計画に沿って、与謝野町がまちづくりの新しいステージを歩み始める年になります。昨年までの取り組みをさらに進め、具体的な方針や取り組みを皆さんに示したいと思えます。これらの重要課題に着手し、持続可能なまちづくりへ向けて着実に前進する年にしたいと考えています。

### 一歩一歩、着実に前進する1年に

昨年インタビューでは「平成24年は今後の与謝野町を方向づける年」とお答えいただきましたが、2期目の最終年度にあたる今年はどういう年になるでしょうか。  
行財政改革、保育所・幼稚

### 全国女性町長サミットを開催します！

また、第3回「全国女性町長サミット」を今年8月に与謝野町で開催する予定です。  
全国女性町長サミットは全国に6人しかいない女性町長が一堂に会し、シンポジウムなどとおして、まちづくりについて議論を深め、サミットアピールとして宣言するものです。

### 住民の皆さんとのキャッチボールを大切に

最後に町長から、住民の皆さんにメッセージをお願いします。  
これまで、2期目に進めてきたまちづくりを振り返りつつ、次に取り組むべき課題を紹介してきましたが、そのすべてが皆さんとともに進めてきたものばかりです。今年も、私からさま

### 一人ひとりがより輝くまちへ

一人ひとりが輝けば、まちは輝きます。このまちも7年目を迎え、「自助」「共助」「商助」を互いに実践して、積極的にまちづくりに参画してもらえようになつてきたと感じています。  
そんな、このまちで頑張る皆さんを支え応援し、一人ひとりがより輝く、持続可能なまちへ向けて精一杯努力していきます。  
住民の皆さんと行政が手を取り合い、まち全体が一つの「輪」となつて与謝野町流のまちづくりを一歩一歩着実に進める1年にしていきましょう。

きまして、先進地の研修等を行いながら、鋭意調査研究をいたします。  
また、議員定数、議員報酬につきましても、本年3月議会を目的として住民の皆様に発表できまますように取り組んでいます。さて、新春ですから夢のある話題もしたいものです。  
そこで町内の「日本一・近畿で一番・京都府で一番」一番探しを始めませんか。人・物・自然・産品なんでも結構です。見つけなければ一番を目指して創造しましょう。  
昨年は、与謝野町消防団が京都府操法大会において1番になり、全国大会へ出場しました。与謝野町合併以来2度目の優勝です。また、木崎良子さんは、日本代表としてオリンピックに出場され、日本人選手1番の好成績で感動を与えてくれました。木崎さんは与謝野町名誉町民を受章されました。さらに、糸井嘉男さんは、プロ野球で日本を代表する一流選手として活躍です。

多くの意見をいただいた議会懇談会  
り、住民の皆様から信頼される、日本一の地方議会を目標に研ぎ磨いていきます。  
住民の皆様へ、しっかりと広報広聴ができる議会となること、まずは第一目標です。  
日常生活の些細なこと、夢物語のような大きな話題まで、与謝野町議会に持ち込んでください。住民の皆様と一緒に、明日の与謝野町に無限の可能性があることを信じて、まちづくりに励みます。  
それでは、平成25年が、私達与謝野町民にとって、幸多い一年でありますようお願いいたします。新年のごあいさついたします。



おた あつみ  
昭和21年京都市生まれ。三河内在住。昭和50年から野田川町議を計4期務め、平成6年に府内初の女性町長として初当選。3期務め、加悦町・岩滝町・野田川町合併協議会会長として与謝野町誕生に尽力。  
平成18年に与謝野町初代町長に就任、平成22年4月に再選を果たし現在2期目。座右の銘は「夢の蓄積は正夢となる」



最初に保育ルームで、「いつしょに親子で絵本を楽しもう！」とトントンとひげいさんの手遊びを親子でした後、図書館司書によるピク絵本「びよくん」のほか2冊と紙芝居「きげんのわるいコックさん」の読み聞かせを行い、親子で一緒に楽しみました。

親子で一緒に お話を楽しみました

この講演会内容については、与謝野町有線テレビで、12月5日に放送されていますので、詳しく知りたい方は、保健課（☎43・1514）までご相談ください。



山添先生の講演に熱心に聞き入る参加者の皆さん

参加者の声

皆さんからいただいた感想を紹介いたします。

先生の講演で知りたかったことをくわしく知ることができました。

ステロイドの使用方法について、今日から試してみようと思います。

基本的なことから実生活で気をつけることがよくわかりました。

子どもがいると、本やテレビで情報を得るのはなかなか難しく、知らないことが多かったです。

今日の内容を生かして、もしものときも慌てずに対処できればと思います。

読み聞かせや紙しばいも大人も引き込まれて、楽しませていただきました



山添先生の講演に熱心に聞き入る参加者の皆さん

子育て講演会を開催！

今回は、昨年11月17日の午後、知遊館を会場に開催した「子育て講演会 in よさの」についてご紹介いたします。

この講演会も今回で3回目となり、子育て支援の一環として、「子育てを楽しくゆたかに!!」をテーマに、小児の病気の知識を深め、日頃の不安解消に、親子ふれあいの場になればと開催したところ、子育て真っ最中のお母さん、お父さん、おばあちゃん、お子さんと多くの参加がありました。参加人数は大人36名、子ども31名でした。

身近なアレルギー疾患を学びました

次は「身近に見るアレルギー疾患をよく知っているつもりで病気でも今一度学び直してみませんか？」と題して講演会を開催。町内でやまぞえこどもクリニックを開業されている山添一郎先生を講師に迎え、「食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、気管支ぜんそく、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎」について、疾病の基本から、治療薬、治療方法等、日頃疑問に感じていることなど、ていねいにわかりやすく講演していただきました。

講演会の最後に先生は、「アレルギー疾患は複数の原因によって発症する多因子疾患であり、アレルギーは原因の1つであつてもそれがすべてではありません。そのため、疾患ごとに対策を講じる必要があります。例えば、アトピー性皮膚炎ならばスキンケア、ぜんそくならばダニ対策



「火事を出さない、出させない」をスローガンに 団員一丸となり 火災予防に努めます

与謝野町消防団長 澤田尚登

明けましておめでとうございます。新年をご家族お揃いで健やかに迎えに出来ましたこと心からお喜び申し上げます。住民の皆様には、日頃から消防団活動に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。与謝野町誕生以来、「火災ゼロの町・与謝野町」を目指して消防団活動を実施して参りましたが、昨年は、一昨年より1件多い11件の火災が発生しました（12月25日現在）。火災の原因は多様化していますが、一人ひとりが注意して火を取り扱うことで防ぐことができたものがそのほとんどでした。消防団では引き続き「火事を出さない、出させない」をスローガンに、防火意識の高揚を図るため、今一層の予防活動に努めて参る所存でございます。

会を開催し、8月の京都府操法大会ではポンプ車操法において優勝を勝ち取り、東京都有明で開催された第23回全国消防操法大会に京都府代表として出場しました。その節には住民の皆様にも多くの激励と温かいご支援とご協力をいただきましたことに改めてお礼申し上げます。この経験は当団にとつて大変貴重な財産であり、今後の消防団の活動に大きく寄与するものと確信しております。また、11月には予防消防の取り組みとして「防火パレード」を開催し、住民の皆様には火災予防を訴えました。いずれの取り組みも団員は連日の訓練、準備を経て、一丸となつて日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮してくれたと振り返っております。また、自然災害では、昨年は幸いなことに町内では大きな被害

害は無く、比較的平穏な年でした。しかし、近年、自然災害はいつどこで起きてもおかしくない状況で、災害を予測することが非常に困難となっております。住民の皆様も日頃から災害に対する意識と備えを十分にお願いたいと存じます。消防団を取り巻く社会的環境は近年大きく変化し、自営業の団員が減る一方で、会社勤めの団員が増え、新入団員や昼間の火災等に出動する団員の確保が難しいなど大変厳しい状況にあります。しかし、災害発生現場において、多数の消防団員が目ざましい活躍をし、その重要性が改めて認識されています。本年も、住民の皆様の生命と財産を守り「自分たちの町は自分たちで守る」という消防精神のもと、消防防災の要として、団員一丸となつて、さらなる努力と精進をして参る所存であります。住民の皆様のお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、住民の皆様のご健勝と、本年が災害のない平穏で平和な年でありますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

「火事ゼロのまち・与謝野町」を目指し 今年も精一杯活動します。

与謝野町消防団 団員一同



1月、日本でもアメリカでも世界中が「始まりのとき」です。

英語圏では、1月1日、多くの人々が「New Year's Resolution (新年の抱負)」を作ります。日本でも同じですね。

抱負(新しい決心)は、あなたの人生を変えることもあります。健康や貯金、学習についてなど皆さんもいろんな抱負を持たれたことでしょうか。2012年もっとも多かったのは、ダイエットや貯金、スポーツ、楽器、芸術、禁煙でした。家族ともっと時間を過ごすというのもいいですね。

アメリカで1番多いのは「ダイエット」でしょうか。11月と12月は、感謝祭やクリスマスがあるため、テレビ、雑誌、ラジオや看板で、食べ物、特にお菓子のコマーシャルがたくさんあります。でも、1月が始まると、コマーシャルも、食べることからダイエットに変わります。「ジムに入会」「運動器具」「やせる食品」「やせる薬」のコマーシャルが流れます。1月の上旬は、ジムがすごく混んでいます!でも、多くの人は、徐々にジムに行くのをやめて、半年くらいで新年の抱負を諦めます。抱負の実現のために頑張る人は半分くらい...いるのでしょうか?

多くの雑誌やウェブサイトでああなたの抱負の実現のため



私の新年の抱負は、「新しい漢字を365文字覚えること」です!

のアドバイスが載っています。皆さんが抱負を実現するためにもそのアドバイスをご紹介します。

●「誰かに抱負を教える」

紙に書くのもいいですが、自分だけで思っている、忘れたり、怠けてしまいがちです。でも、誰かに自分の抱負を教え、人から「どう?」と尋ねられれば、忘れることもなく意識できます。

●「具体的な抱負を作る」

たとえば、体重を減らしたい人は、1ヵ月で、何キロなど、具体的でわかりやすい目標を心がけるべきです。

●「短い時間で」

例えば、新しい楽器を習おうという抱負なら、最初は短い時間だけ弾きます。1日に10分くらいでいいでしょう。毎日、30分、1時間と頑張るより、毎日10分と決めれば続けられるでしょう。

●「簡単に」

たとえば、新しい言語を学ぶという抱負なら、テキストを見つけやすい場所に置き、いつでも気軽にできるよう工夫しましょう。

さあ!あなたの新年の抱負は何ですか。目標に向かって頑張りましょう!

時の贈り物 [第65回 俳額にみる近世与謝野の少年俳人たち]

まちの文化財

「少年」と書かれています。二親をならべて月を見る夜かな 若屋少年 忠蔵 兵吉 さら菊は秋に染るも見事なり 与謝少年 兵吉

与謝の下宮神社には文化七年(1810)秋に奉納された俳額が残っています。俳額とは寺社に祈願のために俳諧(連句)や発句(俳句)を記して奉納した額のことです。冒頭に「奉納発句合」の題字、続けて「題 混雑」として、四季折々の俳句が38句書かれています。1人1句で、選者をつとめた京都の俳人西村定雅(1744-1826)による末尾句を除き、加悦6名、加悦奥8名、岩屋3名、三河内2名、後野2名、与謝16名と、37名の地元俳人が名を連ねています。それぞれの居住地は作者名の右肩に書かれています。そのうち2句は地名に続けて「少年」と書かれています。



俳額「奉納発句合」(与謝 下宮神社)

与謝野町では現在も子どもたちによる俳句作りが盛んですが、その血脈を示すかのようなかの俳額は、1月22日から開催の江山人文庫企画展「俳額と句碑」で見ることが出来ます。

作者が何歳までの場合に「少年」と付記していたのかは明らかではありませんが、おそらく10代を超えない子どもが作った俳句なのでしょう。いずれの句も少年らしい素直な句調の中に、両親とともに過ごす季節や、移ろいゆく季節が見せる美しさへの感嘆が詠み込まれています。他の作者名は俳号のようですが、「忠蔵」「兵吉」は本名と思われる。その名を付けた親や祖父母に連れられ、あるいは単独で、約200年前の少年俳人たちは句会に参加し、大人たちと俳句の力を競い合っていたのでしょうか。

図書館へ行こう!

クイズで頭の体操

1月9日はとんちで有名な一休さんにちなみ、クイズ・なぞなぞの日。年末年始が終わっても普段の調子が戻らない方、頭の体操でスッキリしてみませんか?



『今日はなぞなぞの日』

フジモトマサル/平凡社

答えがわかるまでの悩む時間はなぞなぞの醍醐味。

悩めば悩むほど答えが分かった時の喜びは大きいので、簡単にはページはめくらないで、著者による味のあるイラストとともに、ぜひいたく時間を楽しんでください。



『試験に出るパズル』

千葉千波の事件日記

高田崇史/講談社

天才高校生と従兄弟の浪人生のコンビが、タイトル通りの難解なパズルを解いていくことで怪事件を鮮やかに解決していくミステリー小説。短編集なので、気軽に謎解きにチャレンジできます。

『不思議発見!』

『アイマジックパズル 82』

馬場雄二/講談社

ある2本の線について長さが違うように見えても、実際には同じといった錯覚(錯視)。絵画やデザインにも使われています。目と脳が生み出す錯視のパズルを楽しみつつその秘密に迫る1冊。



『一休 京の絵本』

大野俊明・高田桂子/「京の絵本」刊行委員会

一休さんといえば小坊主のときのとんち話で知られています。

その話はもちろん禅宗のお坊主として人々から尊敬され親しまれた88歳の生涯を終えるまでの一生を美しい日本画で描いた絵本です。



『もりもり小学校 なぞなぞおべんとう』

薫こみこ/ポプラ社

もりもり小学校の給食のおばさん3人はなんと魔女。みんなが楽しみにしていた遠足の行き先が公園から「ふしぎ森」が変わって、彼女たちがかくしたおべんとうを探しに出発することになったのですが...



『なぞなぞパワーのヒミツ きみの知らないなぞなぞの歴史』

このみひかる/大日本図書

「なぞなぞ」のルーツはいつからか知っていますか?ずっと昔から日本人はなぞなぞが大好き。平安貴族のなぞなぞ合戦から江戸時代のおもしろ「判じ絵」など、みんなが知らなかったなぞなぞの歴史を紹介。

- 【母であるあなたに気づいてほしいこと】木村藤子/主婦与生活社 ●【知識ゼロからのドライ・ラマ入門】長田幸康/幻冬舎 ●【テレビの金持ち目録】和田秀樹/ベストセラーズ ●【古民家探訪】京都新聞社/京都新聞出版センター ●【人生がときめく片づけの魔法 2】近藤麻理恵/サンマーク出版 ●【『いいスピーチでしたね』と言われる話し方】金井英之/すばる舎 ●【ことり】小川洋子/日新聞出版 ●【歓喜の仔上・下】天童荒太/幻冬舎 ●【維新銃姫伝】藤本ひとみ/中央公論新社 ●【卑怯を映す鏡】藤原正彦/新潮社 ●【うちの犬(ムク)、知りませんか?】たかぎなおこ/文藝春秋 ●【なんていいんだぼくのせかい】荒井良二/集英社 ●【あたしゆきおんな】富安陽子/童心社 ●【ゆきのひはあついあつい】岩村和朗/至光社 ●【ちがうねん】ジョン・クラッセン/クレヨンハウス ●【はんちゃんめをさましたら】酒井駒子/偕成社 ●【十二支のしんねんかい】みつきみ/こくま社 ●【きせつの手づくり図鑑 冬】峯村良子/偕成社 ●【部活で俳句】今井聖/岩波書店 ●【雨ふる本屋の雨ふらし】日向理恵子/童心社 ●【ぼくの嘘】藤野恵美/講談社 ●【くろくまレストランのひみつ】小手鞠るい/金の星社 ●【ルドルフとスノーホワイト】斎藤洋/講談社

- 問い合わせ先/与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087 ●開館時間/午前10時~午後6時 ●休館日/毎週月曜(本館・加悦分室)、毎週火曜(野田川分室)、毎月最終木曜(共通)

Info 蔵書点検のため臨時休館します

図書館の本をすべて一冊ずつチェックするため、下記のとおり臨時休館します。休館中はご不便をおかけしますが、ご理解ご協力の程よろしく申し上げます。

- <本館> 2月12日(火)~15日(金)  
<加悦> 2月5日(火)~6日(水)  
<野田川> 2月6日(水)~8日(金)

図書館おはなし会

- <本館> 1月12日(土) 午前10時30分~午後3時~  
2月2日(土) 午前10時30分~午後3時~  
<加悦・野田川分室> 1・2月はお休みです

# 功績・功労をたたえて

さらに、岩滝町宮津市中学校組合収入役や岩滝外二町火葬場組合収入役を歴任し、その運営に貢献するなど、町政ならびに地方自治の発展に多大な貢献を果たしました。



瑞宝双光章 (宮津市字日置) は、昭和36年10月に岩滝町事務吏員として採用されて以来、岩滝町の職員として、28年間の長きにわたり地方自治の第一線で勤務しました。また、平成元年4月から12年間にわたり岩滝町収入役を務め、町長を補佐し、まちづくりに尽力しました。その間、健全な財政運営を図るため、平成5年の財務規則の全部改正に取り組みなど、町の発展、住民福祉の向上に寄与しました。

瑞宝双光章  
上中 健さん



故植田豊さん (石川) は、昭和22年2月に石川村書記として採用されて以来、石川村の職員として約8年間、昭和30年3月からは野田川町職員として約29年間の長きにわたり地方自治の第一線で勤務しました。また、昭和59年1月から8年間にわたり野田川町収入役を務め、町長を補佐し、上昇基調を続けていた金利を抑制するため、町内金融機関への公金の預託方法などの調整に取り組みなど、まちづくりに尽力しました。また、平成7年6月からは公平委員会委員に選任され、委員長も務めるなど、町政の推進ならびに地方自治の発展に多大な貢献を果たしました。

野町の初代体育指導委員会会長を務め、町スポーツ振興計画の策定にかかわり、新町の社会体育の方向性と体育指導委員のかかわりについて提言するなど、地域に欠かせない指導者としてスポーツ振興に多大な貢献を果たしています。



和正 正さん (幾地) は、昭和57年に野田川町体育指導委員に就任して以来、現在までの30年間の長きにわたりスポーツ推進委員 (体育指導委員) を務めています。その間、野田川スポーツクラブの設立にかかわったほか、平成6年度からは12年間体育指導委員会会長を務め、体育指導委員の牽引役として企画・運営にあたり、さらに、与謝野町の初代体育指導委員会会長を務め、町スポーツ振興計画の策定にかかわり、新町の社会体育の方向性と体育指導委員のかかわりについて提言するなど、地域に欠かせない指導者としてスポーツ振興に多大な貢献を果たしています。

和正 正さん



土井 豊さん (石川) は、昭和57年に野田川町体育指導委員に就任して以来、現在までの30年間にわたりスポーツ推進委員 (体育指導委員) を務め、この間、平成2年度から4年間、野田川町体育指導委員会会長・与謝地方体育指導委員連絡協議会理事の職を務めたほか、近畿体育指導委員研究協議会では、京都府の代表としてスポーツ振興の現状や課題について事例発表を行いました。さらに、けん玉の認定者の資格を生かして、他市町にも指導に出向き、生涯スポーツの振興に尽力するなど、地域に欠かせない指導者としてスポーツ振興に多大な貢献を果たしています。

また、販路開拓などにも意欲的に取り組み、地域の農業振興に多大な貢献を果たし、その功績が評価され、今回の受賞となりました。

小田さんは農業法人の取締役として与謝野町が推進する自然循環農業の一翼を担い、農林水産大臣賞や天皇杯三賞の一つ日本農林漁業振興会会長賞も受賞するなど高い評価を受ける大豆栽培の推進に尽力しました。

京都府 若手農林漁業者表彰 小田 俊規さん



## ●三河内幼稚園作品展 「わくわく動物園」ではかわいいアシカたちがお出迎え!!

恒例の「三河内幼稚園作品展」が12月14日から18日まで開催され、園児らの力作を一目見ようと、たくさんの来場者でにぎわいました。

三河内幼稚園では、造形活動を通して豊かな表現力を育てることを目的に作品展を毎年開催しており、保護者だけでなく地域にも一般公開されています。今年は「わくわく動物園」をテーマに、ゾウやゴリラ、キリンなどさまざまな動物が制作され、その世界が見事に表現されました。

これらは江原昭三さん (三河内) ら地域の人たちや保護者の方とともに園児が共同で制作。所狭しと並べられた動物たちのほかにも子どもたち憧れの「ツリーハウス」や手作りプランコ、動物園周遊バスなど来場者も参加して楽しめる工夫が盛りだくさんでした。



作品展期間中には1日2回、園児たちが演じるアシカたちによる「あしかショー」が開催され、園児たちが「あうあう」とアシカになりきり、フラフープくぐりやボールキャッチなどを披露。訪れた小さな子どもたちや卒園生も飛び入り参加し、来場者たちはその愛らしい姿に目を細めていました。



上/動物たちに囲まれて記念撮影! 下/「わくわく動物園」を訪れるとかわいい「アシカ」たちが投げキッスで出迎えてくれました

## ●年末防犯パトロールを実施しました 安心・安全なまちへパトロールを実施しました!

12月6日、12日、14日、与謝野町内で年末防犯パトロールが実施されました。

このパトロールは、与謝野町防犯推進協議会の委員皆さんが、年末に発生しやすい犯罪を防ぐ目的で、毎年12月に宮津警察署と合同で継続実施している夜回りパトロールです。

1人ひとりでは対抗できない犯罪に対しても、委員のお互いに協力して、「犯罪は許さない」という姿勢を見せることで不審者を寄せ付けない雰囲気をつくり、地域の防犯力の強化が図られました。



パトロールに参加した委員の皆さん

## ●人権問題を考えるつどい 大切に思う気持ちを伝えるには?

親自身の経験を生かして人材育成に取り組んでいる笹岡郁子さんを講師に迎え、「人権問題を考えるつどい」が12月5日、野田川わーくばるで開催されました。

学生時代に受けたいじめから、ある先生のおかげで立ち直ることができたという笹岡さん。「例えば、先生なら毎日声をかける、家族なら毎日朝大きく手を振って見送る。いつも見守っていることが伝われば、大切に思ってくれているんだと子どもも感じてくれます」とその体験から子どもたちへのコミュニケーションについて熱い語り口調で講演し、多くの来場者たちは真剣な表情で耳を傾けていました。



熱い口調で語る講師の笹岡郁子さん

今月の納期

1/31 (木) まで  
町府民税 第4期  
国民健康保険税 第8期  
介護保険料 第8期

夜間納税窓口

1/29 (火)・30 (水)・31 (木)  
いずれも午後8時まで  
野田川庁舎 (税務課)  
※納付書をご持参ください

滞納税相談窓口

※納期を超えた町税の納付相談窓口  
京都府地方税機構 丹後地方事務所  
京丹後市役所大宮庁舎 3階  
☎ 0772-68-1041

午後7時までの  
夜間延長窓口を  
開設しています

週3回(各庁舎1回)  
次の業務に限り、午後  
7時まで夜間延長窓口  
を開設しています。  
お気軽にご利用くだ  
さい。

【開設曜日】

- 月 住民環境課 (野田川庁舎)
- 水 岩滝地域振興課 (本庁舎)
- 金 加悦地域振興課 (加悦庁舎)

【業務内容】

- 出生、死亡、婚姻、離婚、転入、転出、転居の届け出
- 戸籍、住民票の写し、印鑑証明、身分証明等の交付
- 印鑑登録

【注意事項】

窓口では本人確認をしていますので、運転免許証等の身分証明書を  
ご持参ください。



男女がより輝くまちへ取り組みます

男女共同参画推進委員会

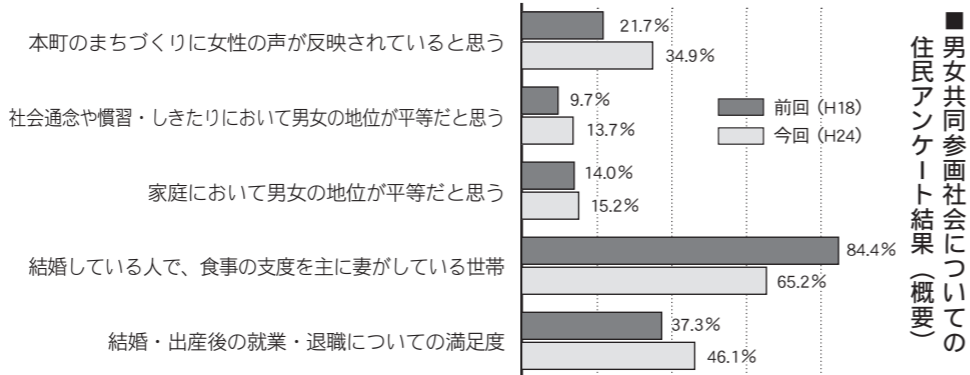
☎ 企画財政課 ☎ 46-3084



太田町長から委嘱状を受け取る小牧恵子委員

12月6日、与謝野町の男女共同参画のまちづくりを進める第1回「与謝野町男女共同参画推進委員会」が岩滝保健センターで開催され、新任3名を含む10名の委員が次のとおり委嘱されました。  
委員の任期は平成24年12月6日から2年間です。

委員紹介(敬称略)  
◎小牧 恵子 (三河内)  
○蒲田 充弘 (浜町)  
○明石 芙佐子 (後野) 新任  
○糸井 和之 (上山田) 新任  
○荻野 満枝 (敷後)  
○下野 住美 (東町)  
○小池 早苗 (上山田)  
○津田 博康 (石川)  
○仲川 ひと美 (加悦)  
○堀尾 知弘 (石川) 新任  
※◎は委員長、○は副委員長  
また、第1回推進委員会では、昨年9月から10月にかけて、2000人の住民を対象に実施した男女共同参画社会についての住民アンケート結果が報告され、今後、与謝野町男女共同参画計画の見直しについて検討されることとなります。  
住民アンケートの結果概要は次のとおりです。



老人医療費助成制度のご案内

☎ 保健課 ☎ 43-1514

高齢者を対象に医療費の一部を助成します  
この制度は、65歳から69歳の高齢者の方を対象に、医療費の自己負担額を助成することで高齢者の健康の保持増進を図ろうとするもので、福祉医療費受給者証(老)を提示すること、医療機関で受診した場合の自己負担(3割)が1割負担となる助成が受けられます。福祉医療費受給者証(老)の交付には申請書の提出と一定の所得審査が必要です。詳しくは、保健課福祉医療係(☎43・1514)までお問い合わせください。  
認定要件  
①65歳から69歳の高齢者の方(対象者)が60歳未満の方と同居している世帯  
本人とその属する世帯の生計中心者(扶養義務者)が所得税を課せられていないこと。  
②対象者の世帯が60歳以上の方だけで構成されている世帯・単身世帯  
本人と配偶者または扶養義務者の所得が本制度の所得基準額未満であること。  
※ただし、医療保険の加入状況(別世帯の方の扶養)によっては、①の要件を満たしていることが必要な場合があります。



所得税・町府民税の申告相談と受付は3月15日(金)まで

申告はできるだけお早めに!

☎ 税務課 ☎ 44-2084

申告はお早めに  
毎年期限近くになると大変混雑しますので、申告はできるだけ早く済ませてください。  
●ご不明な点は、税務課(☎44・2084)または、宮津税務署(☎22・3271)までお問い合わせください。  
町府民税の申告が必要な人  
平成25年1月1日現在、与謝野町に居住している人は申告書を提出してください。所得のない人もその旨を申告してください。  
ただし、次に該当する人はあらかじめ申告書を提出する必要はありません。  
●「申告の不要な人」  
●所得税の確定申告を提出した人  
●給与所得だけで、勤務先から給与支払報告書を提出されている人  
●公的年金等に係る所得のみの人  
所得税の申告が必要な人  
●事業をしている人や不動産収入のある人、土地や建物を買った人などで、平成24年中の所得の合計額が各種所得控除の合計額より多い人  
●給与の収入金額の合計額が2000万円を超える人  
●給与を1カ所から受けている人で、給与所得および退職所得以外の所得が20万円を超える人  
●給与を2カ所以上から受けている人で、年末調整を受けていない給与収入と各種の所得金額(給与所得や退職所得を除く)との合計額が20万円を超える人  
※平成23年分以後で公的年金等の収入金額が400万円以下で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には、所得税の確定申告書を提出することを要しないこととされました。  
混雑解消にご協力ください  
●申告書が郵送された人は、必ず開封し、住所・氏名・フリガナを記入しておいてください。  
●事業所得(営業、その他事業、農業所得)や不動産所得のある人は、収入内訳書(少なくとも必要経費を項目別に年間で計算を記入して持参してください)。  
●分離申告は専門的な内容となるため宮津税務署で申告してください。

●申告相談日程

相談先	相談会場	2月							3月							相談時間	対象税目								
		18日(月)	19日(火)	20日(水)	21日(木)	22日(金)	25日(月)	26日(火)	27日(水)	28日(木)	1日(金)	4日(月)	5日(火)	6日(水)	7日(木)			8日(金)	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)		
税務署	宮津税務署	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9:00~17:00	所得税
	商工会本所	○					○			○														9:30~16:00	
税理士	同加悦支所		○																					9:30~15:30	所得税 住民税
	同岩滝支所			○																					
役場 税務課	元 気 館					○	○	○							○	○	○						9:00~17:00	所得税 住民税	
	知 遊 館									○	○	○							○						
	野田川庁舎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

※税理士による無料税務相談の受付は、午前9時30分から午後3時30分までです。 ※いずれも正午から午後1時までは休憩です。

●宮津税務署からのお知らせ

年金受給者・給与所得者の  
申告相談会を開催します

所得税の確定申告書の書き方などの相談を無料で行いますので、近隣の会場にお気軽にお越しください。

- ※1 宮津税務署は、土・日・祝日は執務を行っていません。
- ※2 いずれの会場も受付時間は午前9時30分から午後3時30分までです。
- ※3 各会場とも、はがきによる会場のご案内は行っていませんので、ご都合の良い日時にお近くの会場をご利用ください。
- ※4 各会場とも午前中は、混雑することが予想されます。混雑の状況により、お待ちいただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●日時・会場

会場	開設日	開設時間
みやづ歴史の館	2月4日(月)・5日(火)	いずれも 午前9時30分~午後4時 (正午から午後1時までは相談を行っていません)
府中地区公民館	2月1日(金)	
加悦地域公民館	2月6日(水)	
知 遊 館	2月7日(木)	
野田川わくばる	2月8日(金)	



**ぎやらりい知遊館 展示のお知らせ**  
**地域・地区公民館 壁新聞展**  
 地域・地区公民館の活動を壁新聞にまとめたものを一堂に展示。  
**日時** 2月3(日)まで 9時～17時  
 月曜休館 **入場料 無料**  
**会場** 知遊館展示室  
**問** 知遊館 ☎46-2451

**与謝野町役場**  
 ☎46-3001 (代表)  
**岩滝地域振興課**  
 ☎46-3002 総務課  
 ☎46-3003  
 ☎46-3004(消防安全係)  
**企画財政課**  
 ☎46-3084  
 ☎46-3085(情報システム係)  
**建設課**  
 ☎46-3267  
**商工観光課**  
 ☎46-3269  
**会計室**  
 ☎46-3007

**野田川庁舎**  
 ☎44-2081 (代表)  
**野田川地域振興課**  
 ☎44-2082  
**住民環境課**  
 ☎44-2083  
**税務課**  
 ☎44-2084  
**水道課**  
 ☎44-2085  
**下水道課**  
 ☎44-2086

**加悦庁舎**  
 ☎43-1511 (代表)  
**加悦地域振興課**  
 ☎43-1512  
**福祉課**  
 ☎43-1513  
**保健課**  
 ☎43-1514  
**農林課**  
 ☎43-2191  
**議会事務局**  
 ☎43-0215  
**教育委員会 教育総務課**  
 ☎43-2192  
**教育委員会 教育推進課**  
 ☎43-2193

**丹後織物の新たな可能性をPRしました**  
 Tango Fabric Marche **問** 商工観光課 ☎46-3269



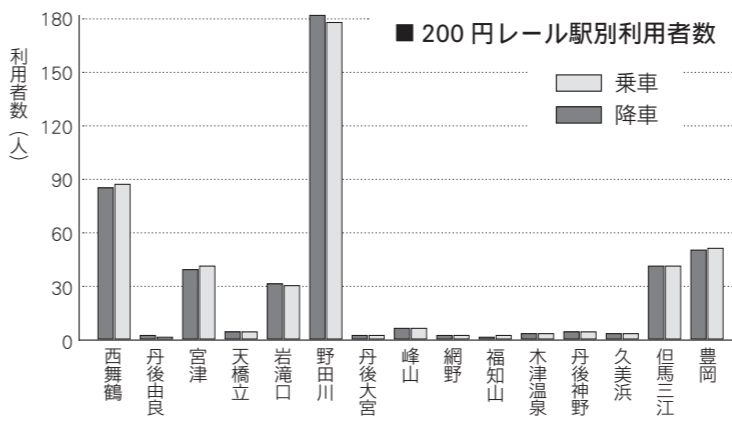
丹後ファッションウィーク開催委員会では、丹後織物総合展「Tango Fabric Marche」を、10月31日から11月2日の3日間、東京・代官山ヒルサイドテラスで開催しました。

**販路開拓を目指して**  
 首都圏における丹後織物総合展としては初めての単独展であり、与謝野町内の企業11社を含む丹後地域の19社が、丹後ちりめんの伝統の織り技術と現代の技術を融合した素材を出展し、積極的な商談が展開されました。丹後産地として、丹後織物の新たな可能性を広くPRしました。

**11 月入札結果** **問** 総務課 ☎46-3003

入札日	工事名	場所	業者数	落札業者名	予定価格 (千円/税別)	最低制限 価格 (千円/税別)	落札金額 (千円/税別)	落札率 (%)	工事期間
11/2	統合簡水加悦上水道加悦送水管布設(3工区) 工事	算所	4者	株式会社添電気	18,307	15,617	15,617	85.3	H24/11/14 ～H25/1/31
11/2	統合簡水加悦上水道明石送配水管布設(その5) 工事	算所	4者	株式会社しべ建設	20,527	17,463	17,463	85.0	H24/11/14 ～H25/2/22
11/2	岩滝グラウンドゴルフ場整備工事	岩滝	5者	石本建設㈱	29,430	24,829	24,829	84.3	H24/11/14 ～H25/3/31
11/2	阿蘇シーサイドパーク施設整備工事	岩滝	5者	株式会社しべ建設	30,193	25,387	25,387	84.0	H24/11/14 ～H25/3/31
11/2	与謝野町立国民健康保険診療所リハビリ棟増築工事	石川	2者	安田建設㈱	36,950	32,092	36,000	97.4	H24/11/14 ～H25/3/25
11/2	クアハウス岩滝駐車場舗装修繕工事	岩滝	5者	㈱田中工務店	11,812	9,877	9,877	83.6	H24/11/14 ～H25/1/18
11/2	ソブ川支線②水路改良(その1) 工事	三河内	12者	㈱山田電気商会	9,516	7,898	7,898	82.9	H24/11/8 ～H25/2/28
11/2	石川地区面整備⑤工事	石川	2者	㈱柳水道	1,379	1,141	1,141	82.7	H24/11/13 ～H24/12/28
11/2	下水道台帳作成業務(岩滝地域)	弓木他	5者	アジア航測(㈱京都支店)	1,574	-	1,334	84.7	H24/11/8 ～H25/3/25
11/2	下水道台帳作成業務(加悦地域)	算所他	5者	内外エンジニアリング(㈱京丹後営業所)	2,273	-	1,930	84.9	H24/11/9 ～H25/3/25
11/2	下水道台帳作成業務(野田川地域)	幾地他	5者	アジア航測(㈱京都支店)	2,859	-	2,423	84.7	H24/11/8 ～H25/3/25
11/28	統合簡水加悦上水道舗装本復旧(その4) 工事	明石	5者	㈱本工業㈱	1,933	1,601	1,601	82.8	H24/12/8 ～H25/1/31
11/28	下水道関連舗装本復旧⑥工事	弓木	5者	㈱田中工務店	3,800	3,161	3,161	83.1	H24/12/8 ～H25/1/31
11/28	温江地区面整備②工事	温江	13者	安田産業㈱	14,837	12,707	12,707	85.6	H24/12/7 ～H25/3/29
11/28	阿蘇シーサイドパーク公園管理センター新築工事	岩滝	2者	安田建設㈱	31,310	27,240	30,700	98.0	H24/12/7 ～H25/3/29
11/28	ソブ川支線②射流分水工他実施設計業務委託	三河内	15者	㈱ニコス京都支店	2,918	-	2,620	89.7	H24/12/8 ～H25/2/28

**シルバー世代の皆さん、200円レールでお出かけしませんか**  
 KTR高齢者片道200円レール **問** 企画財政課 ☎46-3084



10月20日からスタートしたKTR高齢者片道200円レール。シルバー世代の皆さん、もうお乗りになったでしょうか？  
 町内在住の65歳以上の方は、野田川、岩滝口、天橋立、宮津の各駅からKTR線内のどの駅で降りても片道200円(往復400円)で利用でき、この約1カ月半(10月20日～11月30日)で述べ455人の方が利用されました。左表の

**ご利用方法**  
 与謝野町に在住の満65歳以上の方  
 この機会にぜひKTRでお出かけください。  
 健康づくり、そしてKTRの利用促進を図っています。  
 鉄道でお出かけすること、家族やお友達と沿線の魅力を再発見いただき、いろんな出会いを楽しんでいただくことで地域の活性化や健康づくり、そしてKTRの利用促進を図っています。

例えばこんなにお得!  
 ●野田川駅～西舞鶴駅 通常 往復1,500円  
 ●野田川駅～福知山駅 通常 往復1,740円  
 ●野田川駅～豊岡駅 通常 往復2,400円  
**→すべてたったの400円!!**

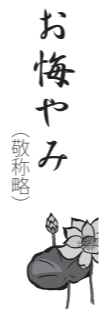
**【対象者】**  
 与謝野町に在住の満65歳以上の方  
**【乗車・降車】**  
 昨年10月25日に各家庭に配布されたパンフレットを準備してください(各庁舎・野田川駅にも配置してあります)。  
**【乗車】**  
 ①パンフレットから専用きっぷを切り取り、「乗車」と降車駅「利用日」を記入する。  
 ②駅窓口で記入済みの専用きっぷを添えて、運賃を支払い領収を押印してもらおう。この際、年齢確認ができる身分証明書を提示する。  
 ③降車時に運転士(または駅改札員)に専用きっぷを渡す。

**【対象列車】**  
 与謝野町の方は野田川駅、岩滝口駅、天橋立駅、宮津駅からご利用ください。  
 ※KTR線内の駅でも降車できます。  
**【対象列車】**  
 KTR普通列車・快速列車を使ったKTR線内の乗降 ※特急利用は対象外です。  
 ※企画きっぷ(1日フリーきっぷ等)との併用はできません。  
 ※自動券売機での購入はできません。

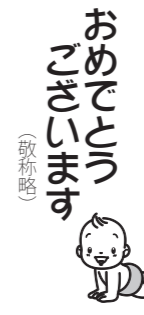
**●1日乗り放題きっぷ**  
 KTR全線の普通列車・快速列車が1日乗り放題(1,200円)。  
**●まるごと丹後 乗り放題きっぷ**  
 KTR普通列車・快速列車・特急列車(自由席)が毎月1日および土曜・日曜・休日1日乗り放題(1,700円)。  
**●子育て応援きっぷ**  
 毎月19日(育児の日)に、KTR全線の普通列車・快速列車が1日乗り放題で大人1名に対して、お子さま2名まで無料(1,000円)。

**【ご利用駅(乗車駅)】**  
 与謝野町の方は野田川駅、岩滝口駅、天橋立駅、宮津駅からご利用ください。  
**【無人駅(有人駅で駅員のいない時間帯)からのご利用】**  
 ①パンフレットから専用きっぷを切り取り、「乗車」と降車駅「利用日」を記入する。  
 ②記入済みの専用きっぷを持って乗車する。  
 ③降車時、運転士(もしくは駅改札員)に専用きっぷと片道運賃200円を支払う。この際、年齢確認ができる身分証明書を提示する。

町内に配布している  
 広報誌には掲載しています



町内に配布している  
 広報誌には掲載しています



**まちのうごき**  
 平成24年11月末現在  
 人口 24,004人 (-48)  
 男 11,392人 (-11)  
 女 12,612人 (-37)  
 世帯数 9,164戸 (-26)  
 ※括弧内は前月比

※この欄で紹介する出生とお悔やみは、1月16日から2月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。



●与謝野町子ども発表会  
心を打つ子どもたちからのメッセージ

「与謝野町子ども発表会」(与謝野町青少年育成会主催)が11月25日、野田川わーくぱるで開催されました。壇上に立った町内の小中学校と加悦谷高校の13人の子どもたちが思い思いのメッセージを発表しました。



成長するということ  
砂後琴梨(与謝小6年)



将来の夢に向かって  
矢嶋竜貴(岩屋小6年)



仲間がいれば…  
白須奈々子(岩滝小6年)



伝統を守る  
廣居達哉(山田小6年)



だれもが気持ちよく  
すごせる町に  
松田はるな(市場小6年)



将来の夢  
赤西達哉(加悦小5年)



地域の歴史を知って  
(大江山捕虜収容所)  
白須美紅(石川小6年)



成長するきっかけ  
吉岡青晃(桑飼小6年)



一人一人の  
持ち味を生かして  
桶本京香(三河内小6年)



部活動  
辻晃平(加悦中3年)



憧れを形に変えて  
矢野美鈴(橋立中3年)



みんなで変わろう  
高橋日向(江陽中2年)



私とウエイトリフティング  
本田大智(加悦谷高2年)



壇上にそろった発表者。堂々とした主張発表は来場者の心に響いていました

子どもたちの発表は、自分の将来の夢や部活動についての思い、学校生活や地域での経験から感じたこと、学校の仲間たちへのメッセージなどさまざま。

心を打つ発表に来場者たちは真剣に聞き入っていました。